

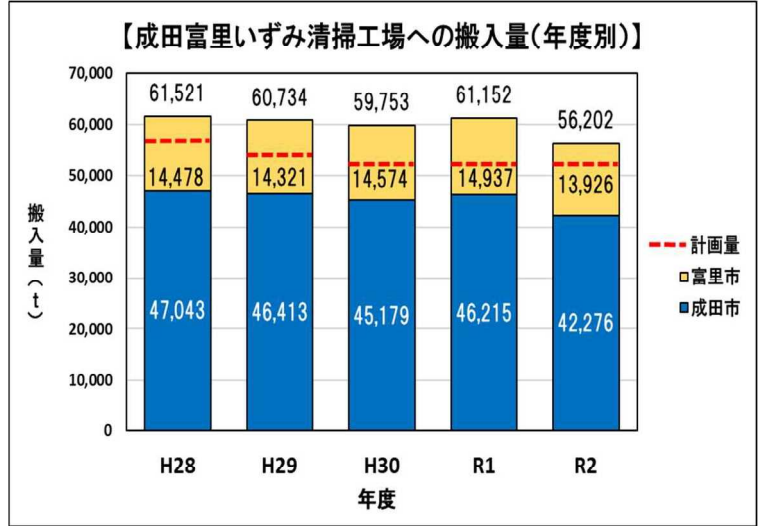


# 成田市のごみの状況について

## ○成田富里いずみ清掃工場の現状

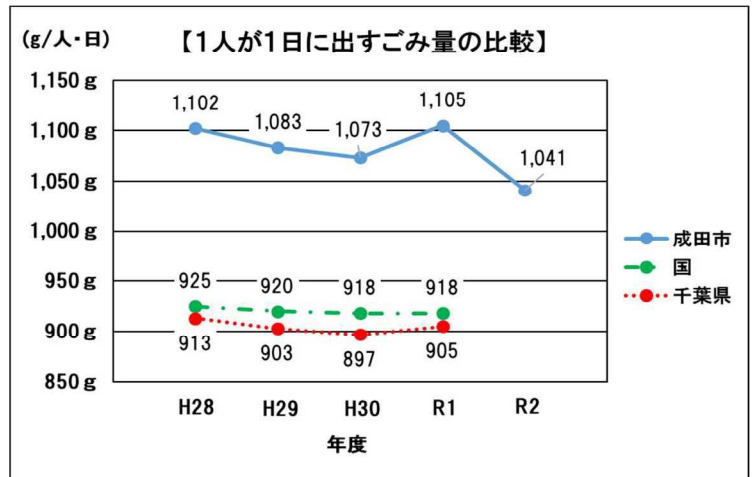
成田富里いずみ清掃工場における令和2年度の処理計画量は約52,000トンとなっておりますが、実際のごみの搬入量は56,000トンを超えています。

処理能力を超えた4,000トンを超えるごみは外部の処理施設にて処分しており、その処理費は約1億5,000万円かかっています。市ではこの費用を削減するため、ごみの減量に取り組んでいます。



## ○全国との比較

令和2年度に成田市内から出たごみの量は、1人1日当たりに換算すると1,041gになります。右図のとおり、全国や千葉県と比較すると、かなり多い状況が続いています。



※令和2年度の国及び千葉県のデータは現時点で未発表のため未掲載

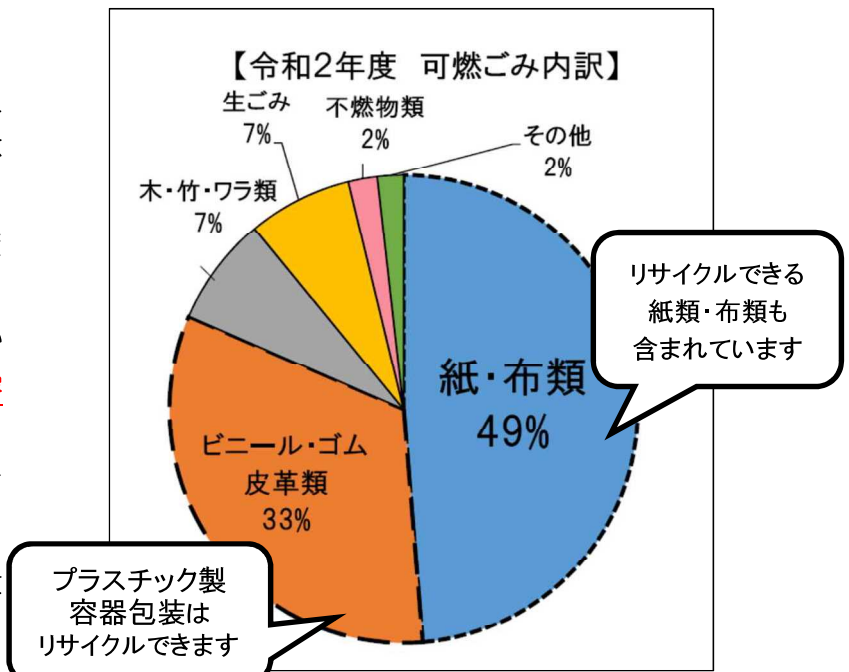
## ○可燃ごみの内訳

右の円グラフは、成田富里いずみ清掃工場に搬入された可燃ごみの内訳です。全体の約半分を占める紙・布類の中にはリサイクルできる紙類・布類が多く含まれています。

また、約3割含まれるビニール類のなかにも、リサイクルできるプラスチック製容器包装が含まれています。

つまりは、多くの資源物がリサイクルされずに処理されているのがわかります。

適正分別を徹底すれば、現状のごみの量を大きく減少することができます。



リサイクルできる紙類・布類も含まれています

プラスチック製容器包装はリサイクルできます

そのためにも、市民の皆様一人ひとりが成田市の分別ルールを守っていただくことが大切となりますので、今後ともご協力をお願いします。



## 白い指定袋で出せるもの

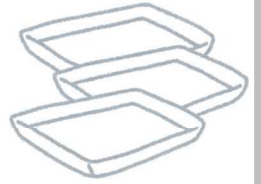
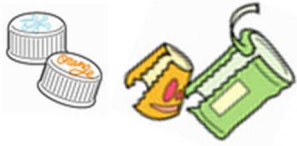
…プラスチック製容器包装の例を紹介します。  
下記の“ルール①・②”を参考に、分別してみましょう。

ペットボトルの  
キャップ・ラベル

カップ・パック類

発泡スチロール製の  
緩衝材

トレイ

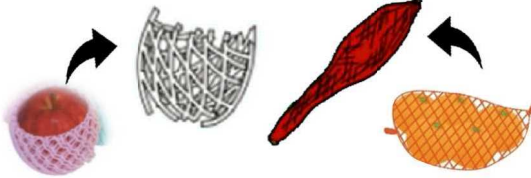


袋類

リンゴ・みかんのネット

クッション材(プチプチ)

※プラマークが無くてOK!



### ルール①

プラマーク が付いているもの



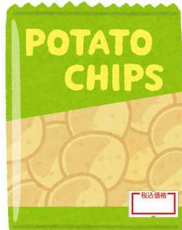
プラマークは、プラスチック製の入れ物や包んでいるものに表示されています。

### ルール②

キレイに洗って、乾かしたもの

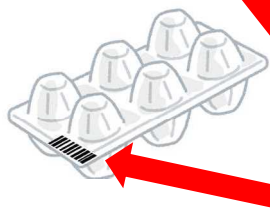


…汚れたものはリサイクルできません。汚れたものが袋に入っていると、汚れが広がり他の資源物もリサイクルできなくなります。



### 紙製シールの取り扱いについて

賞味期限や値段表示、バーコードなどの紙製シールは簡単にはがせる場合ははがしていただき、残ってしまった場合など、はがすのが難しい場合はそのままプラスチック製容器包装の指定ごみ袋に入れてください。



紙製シールはこのように付いていることがあります。

# 青色の指定袋【可燃ごみ】で出すもの



## プラマークの無いもの

## 汚れているもの



プラスチック製の  
おもちゃ



タッパー



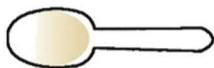
プラスチックの  
バケツ・洗面器



タレ・食べかすが  
付いた弁当箱



ネバネバがついた  
納豆の容器



プラスチックの  
フォーク・スプーン



歯ブラシ



ストロー

# オレンジ色の指定袋【ペットボトル】で出すもの



ペットボトル  
(本体)

## 捨てる時の注意



①キャップをはずす



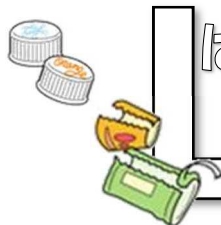
②ラベルをはずす



③中を軽く洗って



④横につぶす



はずした  
キャップとラベル



白色の  
指定袋

## 【お願い】リチウムイオン電池を含む電子機器を混ぜないで！

モバイルバッテリー、加熱式タバコ、電子機器のバッテリーなど、リチウムイオン電池を含む電子機器がプラスチック製容器包装の中に混入し、プラスチックのリサイクル工場での発火トラブルが近年増加しています。

これらは家電量販店などの「リサイクル協力店※」へお持ちください。



ゲーム機



加熱式たばこ



モバイルバッテリー



充電式電池



発火が原因でリサイクル工場が  
焼けてしまった事例

※リサイクル協力店の  
検索はこちら



成田市クリーン推進課 TEL0476-20-1530



# 雑がみ保管袋を配布しています！

成田富里いずみ清掃工場で処理される可燃ごみのうち、約半分は、紙類・布類です。その中でも可燃ごみとして捨てられやすいのが、「雑がみ」です。この「雑がみ」の分別を促進するため、市では「雑がみ保管袋」を配布しています。



## ★使い方・出し方

① 雑がみ保管袋に雑がみを集めよう。



② たまったら いらぬ紙袋に雑がみを入れ替えよう。

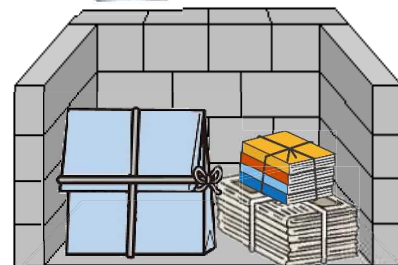


※保管袋の中身(雑がみ)のみ入れ替えてください

③ ひもで縛って集積所へ。



※紙素材以外の持ち手は取る



## 袋は、保管用として、繰り返しご利用ください

【配布場所】(広報なりた令和2年度11月1日号に掲載)

クリーン推進課(市役所5階)、行政資料室(市役所1階)、成田富里いずみ清掃工場、成田市リサイクルプラザ、下総支所、大栄支所、各公民館、保健福祉館、もりんぴあこうづ、三里塚コミュニティセンター、美郷台地区会館 ※配布は、無くなり次第終了となります。



雑がみの分別について、市のホームページで紹介しています。左記のQRコードからご覧いただけます。